

第1回 総合計画審議会(令和5年9月29日開催)の振り返り

■第3次総合計画の策定方針、策定のながれについて

第3次総合計画の策定方針及び策定のながれ(スケジュール案)について、ご了承いただきました。

◎計画策定において重視する項目

- (1) 分かりやすい、伝わる計画づくり
- (2) 社会情勢の変化を的確に捉えた計画づくり
- (3) 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の趣旨を踏まえた計画づくり
- (4) 施策の評価指針として活用できる計画づくり
- (5) 市民の声を反映した計画づくり

《委員の皆さまからの主なご意見》 ※主に第2回以降の審議会での議論に影響し得るものを抜粋

- 市民意見の反映について、実施が予定されている市民満足度調査や市民参画会議、パブリックコメントの実施のほか、日頃から地域や住民のことを考えて活動されている自治会の代表の意見を聞く機会を設けてはどうか。
⇒ 市政推進委員を対象としたアンケート調査を実施し、第2回の審議会でお示しする。
- 第3次総合計画の検討にあたり、これまでの総合計画の進捗状況やその結果の振り返りは行うか。 ⇒ 第2次総合計画の検証を行った結果を、第2回の審議会でお示しする。

■市民満足度調査(第8回)の実施、市民参画会議の開催について

市民満足度調査及び市民参画会議の実施内容について、ご了承いただきました。

◎市民満足度調査(第8回)【実施期間:令和5年10月24日~11月22日】

市内にお住まいの20歳以上の方3,000人を対象にアンケート調査を実施

◎市民参画会議【実施期間:令和5年11月~令和6年1月(計4回)】

市民(在住・在勤)から参加者を公募し、清須市の将来像や現状の課題等について意見聴取を行う市民参画会議を開催

《委員の皆さまからの主なご意見》 ※主に第2回以降の審議会での議論に影響し得るものを抜粋

- 市民参画会議で検討した結果は、今後の総合計画策定にあたりどの程度反映されるのか。
⇒ 市民参画会議は、市民の実感に基づく意見であるため、計画策定にあたって重視すべき要素のひとつとして考える必要がある。最終的には総合計画審議会の場で、他の要素と合わせて総合的にご審議いただき、反映する。

■基本構想骨子の検討について

第3次総合計画の基本構想骨子案について、ご了承いただきました。

◎清須市の基本理念

「安心」－「快適」－「魅力」－「はぐくみ」

◎清須市の将来像

水と歴史に織りなされた 安心・快適で魅力あふれる“はぐくみ都市”

◎行政運営の方針

- (1) 総合計画に基づく行政運営の推進
- (2) 持続可能な財政運営の推進
- (3) 効率的で質の高い行政運営の推進

◎7つの政策(施策の方針)

- 【政策1】安全で安心に暮らせるまちをつくる
- 【政策2】子どもの笑顔があふれるまちをつくる
- 【政策3】誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちをつくる
- 【政策4】便利で快適に暮らせるまちをつくる
- 【政策5】魅力に満ちた活力のあるまちをつくる
- 【政策6】豊かなところとからだをはぐくむまちをつくる
- 【政策7】関わる人々の思いを大切にするまちをつくる

《委員の皆さまからの主なご意見》 ※主に第2回以降の審議会での議論に影響し得るものを抜粋

- 基本理念の「安心」、「快適」、「魅力」、「はぐくみ」には、優先順位はあるか。
「はぐくみ」を大切にするのであれば、順番を変えても良いのではないか。
⇒ 明確な優先順位があるものではない。また、「はぐくみ」については、子どもに関わるものだけでなく、思いやつながりを育むといったように、政策全体に対して横串で刺さるイメージであり、最後に来ているから優先順位が低いということではない。
- 総合計画の中だけにとどまらず、広報誌などの印刷物に「はぐくみ」や「はぐくみ都市」ということを記載して配布することで、市民や近隣の市町村の人たちへの浸透・定着を期待したい。清須市と言えば「はぐくみ都市」と言われるようになれば成功である。